

コロナ後の経済と健康

新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが「5類」に移行して約半年。人出が回復し、コロナ前の日常に戻りつつある。だが、新型コロナウイルスは根絶されたわけではない。感染対策を続けつつ、いかに県内経済を活性化させていくか。そして、県民の幸福度を高めていくか。幸せな長寿社会を実現するために、歯科口腔保健が果たすべき役割とは。県歯科保健大会県民公開講座(18日)を前に、今年7月に再選を果たした山本一太知事と県歯科医師会の村山利之会長が、それぞれの立場で思いを語り合った。

(聞き手・上毛新聞社取締役営業本部長 清水直樹)



対談 村山 利之氏 山本 一太氏

県歯科医師会長 村山 利之氏
県知事 山本 一太氏

県民のために さあやるぞ!

県民の所得をいかに増やすか

山本知事は7月の知事選で、有効投票数の79.16%を獲得し再選を果たしました。2期目の基本政策として①県民の幸福度向上②新群馬の創造③群馬モデルの発信を挙げています。

山本知事 県民が誇りと幸福感を持つ社会の実現に向け、再生可能エネルギーで生み出す計画を策定します。

1期目では新型コロナウイルスや自然災害などの問題から県民の生命、健康、暮らしを守ることに全力を挙げ、一方で、本県の新たな富につながる未来への投資にも力を注いできました。2期目は、先ほども挙げた基本政策の実現に向けて、攻めの4年間にしていきたいと思

ます。

村山会長 1期目の知事の即断力と実行力は驚かされました。想像を超える新型コロナウイルスによるパンデミック下において、いち早くワクチン接種センターを開設されるなど強力なリーダーシップを発揮されています。県民の所得増大、幸福度向上へ向けた2期目の手腕に期待が寄せられるところであります。

山本知事は8月に韓国のリソット地・済州島を訪問し、現地要人と群馬への観光誘客強化に向けて意見交換しました。今月中旬には高崎市の富岡製紙工場と米田・シリコンバレーを視察する予定です。

山本知事 今回、韓国訪問では、済州特別自治道の呉裕勲知事らと観光戦略について話し、現地のホテルも視察しました。「リソット」の聖地」の参考に、本県の立地と、ゆとりある

コロナに罹患して分かったこと

山本知事は新型コロナウイルス対策において、全国に先駆け4年目にして初めて仕事を病欠しました。その際、多くの方からお見舞いのメッセージをいただき、「人間は、本気で自分のことを心から心配し、応援してくれる誰かがいれば、それだけで生きていけるものだ」と改めて感じました。

県内の経済はコロナ禍の3年間で停滞を余儀なくされ、早期回復が急務となっています。コロナは消費行動や働き方を始め、社会構造を一変させました。この構造変化により、東京に近いにもかかわらず、快疎な空間を有する本県の魅力が再評価されています。

燃料価格の高騰は再生可能エネルギーのポテンシャルが高い本県にとって再生エネルギーを増やし、企業や個人を引きつけるチャンスでもあります。

このような変化を冷静に分析し、対応できる仕組みを作り、新たな富や価値を創出する課題解決の夢の持てるモデルを群馬から世界に発信していきたいと考えています。

群馬を世界に知ってもらうために

オーラルフレイル対策が必須

食べること 健康であること 美しくあること

岸田文雄首相は「認知症と向き合う『幸福社会実現会議』の初会合を9月末に開き、年末をめどに施策をまとめる考えを示しました。本県においても認知症対策は重視されています。

山本知事 認知症患者数は高齢化に伴い、ますます増加していくことが予想されます。県としても全力で施策に取り組んで参ります。幸福度に直結するのは健康寿命です。経済を回すためにも健康でないと始まりません。健康寿命を伸ばすには、歯や口腔の健康、そしてその向こうにある全身のフレイル予防が不可欠です。その観点からも、歯

科医師会の皆さんにぜひ、力をお借りしたいと思っています。

村山会長 今年9月、アルツハイマー病の新薬「レカネマブ」が厚労省により正式承認されましたが、まずは認知症にならないための予防策が大切です。

健康者と認知症患者の間には軽度認知障害(MCI)という段階が存在します。島根大などの研究によると、MCIの状態のうち5割が認知症へと移行し、4割が現状維持、そして1割が正常な状態へと戻るといいます。

認知症への移行を食い止めるためには、歩行(早歩

き)を習慣づけることが大切です。歩くことで血管内皮細胞増殖因子や神経栄養因子などが血液中に放出され、新たな毛細血管と神経細胞を生み出すことを促進します。その結果、脳内ネットワークのつながりを強くし、正常な状態へ戻すこともできると考えられるようになってきました。高齢化社会では、このような予防策に対する研究も急がれます。

山本知事 私も毎朝、毎晩、村山会長に薦めていただいた歯ブラシで歯を磨き、移動中もキシリトール等を含んだガムをかむなどしてかむ力の維持に努めています。選挙期間中に全県を走り回れたのは、丈夫な歯があったからです。認知症対策を含め、歯科医師会が推進するオーラルフレイル予防、そして全身のフレイル予防がコロナ後においては必要であると考えています。

村山会長 健康な歯は自

信につながり、その自信は美しさを導きます。当会は基本コンセプトの「食べること、健康であること、美しくあること」すべてが人々の幸せのために、「1」の下、「幸福社会」の実現を目指して取り組んでまいります。

村山会長 山本知事は、いわば190万県民の世帯主です。コロナの先を見据え、多くの県民が知事の強いリーダーシップに期待と信頼を寄せています。今回のコロナ感染と、新たな知見を得られたと推察します。その経験も踏まえ、県民に寄り添った政策の推進を期待しています。



「フレイル対策は毎日の歯磨きから」と口腔ケアの大切さについて話す山本知事(右)と村山会長

第33回 群馬県歯科保健大会 健康寿命延伸とフレイル対策 県民公開講座

会場・オンラインともに参加無料

日時 令和5年 11月18日(土) 14:00~16:00

場所 群馬会館ホール (前橋市大手町2-1-1 (駐車場は県庁県民駐車場をご利用ください))

講師 筑波大学 人間系 教授 山田 実先生

LIVE配信 <https://www.gunshi.jp/info/20231118/> 群馬県歯科医師会ホームページにて配信いたします。

主催: 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県歯科医師会 後援: 群馬県医師会・群馬県薬剤師会 お問い合わせ 公益社団法人 群馬県歯科医師会 TEL027-252-0391

